

平成 30 年度 7 月 彦根市総合教育会議 資料

【小学校 外国語活動・英語教育について】

1、小学校英語教育（外国語活動）経緯と今後の計画

年度	教育特例校数	市事業・取組	小・中 ALT
27	2 校	教育課程特例校推進	小 ICA 3 人
28	11 校	イングリッシュコンテスト開始 参加 12 校 (協力：彦根商工会議所)	インタラック委託 7 人
29	15 校	12 月校長会 移行措置説明 12 月教務主任 H31・32 年度移行教育課程説明 2 月彦根市英語指導計画等説明 2 月イングリッシュコンテスト 参加 9 校	7 人
30	15 校	12 月新教育課程説明会	7 人
31	(17 校)	英語教科書採択	8 人
32	新教育課程実施	第 3.4 学年 (35 時間 外国語活動) 活動型 第 5.6 学年 (70 時間 外国語) 教科型	10 人

特例校の外国語・英語活動

第 1・2 学年・・・年間 17 時間 (毎日短時間学習 5 分)

第 3・4 学年・・・年間 35 時間 (授業 18 時間＋毎日短時間 5 分)

第 5・6 学年・・・年間 67 時間 (授業 50 時間＋毎日短時間 5 分)

※毎日短時間学習 ビデオ視聴 5 分 (5 分×153 回＝765 分 765÷45＝17 時間)

成果

- ・毎日、短時間学習（5分）で、同じビデオを一週間繰り返し視聴することにより自然と英語表現が身につく、画面に合わせて自然と英語を話せることができるようになっている。
- ・早い学年からネイティブの英語を耳にすることで、より美しい発音ができる。
- ・平成32年度からの英語実施に向け、児童・教師ともに学習環境が準備でき、円滑なスタートへつなげられる。

課題

- ・平成32年度からの新指導要領では、第1学年・第2学年における英語科学習は含まれていない。これまでの本市の実践から1・2年生での英語短時間学習実施し、上学年への積み上げとするためには、教育課程編成に工夫を要する。

2、ALT (Assistant Language Teacher) について

- ・H30年度 派遣人数7名（インタラックへ委託）
- ・派遣日数：年間200日・1単位時間の中の全部ないし一部の指導を担当と進める。

増員 平成32年度新指導要領完実施に向けて

- ・小中学校への配置・・・H30年度は7名 H31年度は8名
H32年度は10名 H33年度は10名

平成32年度からの完全実施に向け現年比ALT3名増員の債務負担行為をしているもの。

配置するALTの条件

【彦根市外国語指導助手業務委託仕様書抜粋】

配置するALTは、以下の条件をすべて満たす者とする。

- (1) 英語を母国語とし、または同等の能力を有する、大学または同等の教育機関を卒業した者
- (2) 日本での就労および本市への配置に関して適正な手続きに基づいている者
- (3) 委託者が必要とする水準の教授技術を持つ者
- (4) 外国語教育に関心をもち、指導に意欲的な者
- (5) 外国語教育の指導者として、その業務履行状況が良好で、能力、人格等において学校教育に携わるに適した者
- (6) 教職員および児童生徒等と適切な人間関係を構築し、業務を遂行できる者

ALTのプロフィール一例

【出身地・国籍】：フィリピン

【学歴】 Marikina Polytechnic College 技術指導教育（技術英語）専攻 学士号取得

【職歴】 Neung Yule Eduphone Inc. オンライン英語講師

Eduplaza and Spicus Global Inc. オンライン英語講師

(株) インタラック

ALT 外国語指導講師

【言語】 英語レベル 公用語

日本語レベル 初級

課題

- ・ネイティブの発音や表現を実感する指導の充実を図るため、また、教員の指導力向上を図るため、十分な指導・研修を考慮すると更に ALT を小・中学校合わせ 8 人は増員する必要がある。(全 18 名)
- 加えて、県費による英語専科教員配置の要望や市費による英語科専科教員の配置、また今後は、国語科・数学科のような教員 OB による指導力向上のための英語科専門指導員の配置を必要とする。
- ・教員のスキルアップのために、市費による臨時講師を配置し、県費正教員がミシガン大学等とのタイアップで研修留学など、生きた英語を学ぶ機会を設けることが望ましい。

3、「中川禄郎杯・彦根市小学生英語イングリッシュコンテスト」実施

目 的 : 現在、市内の教育課程特例校では井伊直弼公とペリーが登場するビデオ教材を使って学習をしている。直弼公に開国論を教授したと言われる中川禄郎を冠したイングリッシュコンテストを平成 28 年度より彦根商工会議所の協力を得て開催し、早くから世界に目を向けていた郷土の偉人に思いをさせ、英語学習への意欲を深めている。

昨年度の実績

日 時 : 平成 30 年 2 月 4 日 (日)

会 場 : ミシガン州立大学連合日本センター

参加対象 : 市内小学 6 年生

内 容 : 部門① CAN-DO ENGLISH コース (個人参加)
「なおすけ・ペリーの CAN-DO ENGLISH 3」の英語スピーチを暗唱して発表する。

部門② Hi, friends! コース (1 チーム 5 名で参加)
外国語活動、英語科で学習した内容を発表する。
例) 学校紹介、彦根市の紹介、日本の伝統文化の紹介 など

課題

参加校の増加を図る。

4、市内に英語環境を整える

市内の掲示や標識などに英語表記を加えることで、生活の中に英語を身近に感じる環境を整える。生活環境の中に英語表記があることが望ましい。